

学校教育目標：自ら考え、行動する中筋の子

2023 年  
5月12日

# なかすじっ子

No.3

文責：永野

四万十市立中筋小学校 学校通信

## 連休を終え、元気な子どもたちの声が校舎へ

これまでの5月の連休は、遠出の外出を特に控え、会いたい人とも会わずに我慢するなど規制のあった連休でした。今年は、8日から新型コロナウイルス感染症が5類へ移行するにあたり、高知県内も観光客の方が増え、実家へ帰られる方もおり、人の往来が多くなったお休みでした。子どもたちも遠出、近場へと楽しんだ様子が子どもたちの声から聞こえています。

今週から、また学校でのいつもの生活が始まりました。朝マラソンが始まる5分前になるとほとんどの児童が朝の自分の仕事を終えて校庭に出てきます。1年生も目標を決めて走っています。もちろん、競争心旺盛で、友だちに抜かれそうになるとスピードをあげ、しんどくなると歩く姿があります。上級生を見ながら、先生からの声掛けを受け止めながら、自分でどうすると長く走られるのか考えられるようになってきます。

「継続は力なり」で目標を持って走る、6年間の積み重ねは大きいものになります。自分の力をしっかり出してやり切ることを後押しします。



## 春の遠足 「下田公園」

4月28日（金）は遠足でした。9:00に出発し2台のバスで下田公園へ向かいました。行く途中に大型バスに何台も出会い、ひよっとすると…と感じる予感の中、下田公園へ着くと、中村小学校・中村南小学校の児童のみなさんが南側の公園の方で準備をしていました。自分たちは北側の遊具のある方でまずは記念写真を全員で撮り、児童会の4人が考えてくれたレクをみんなで行いました。この日のために低学年が分か



この日のために低学年が分か

るように言うにはどうすればよいか考えたり、配置を図にしてみたり、準備も念入りでした。当日は4人で協力し合って、スムーズにみんなが動けるように気を付けている姿が印象的でした。午前中はドッジボール・王様ドッジを、午後からは増え鬼・しっぽ取をみんなで楽しみました。増え鬼では先生たちも鬼にもなり、子どもたちにタッチするためにチームプレーで頑張りました。子どもたちの鬼が増えてくると、どんどん鬼が増えていきました。さすが子どもたち！



児童会の子どもたち、やり切りました。ありがとう。

## あいさつ 児童会が手本になって

児童会の さん・ さん・ さん・ さんの決めた「あいさつ運動」は、月・火・木・金の週4回行くと決めているそうです。時刻は7:30~7:40です。10分間といえど、この時刻に合わせて登校し、下級生を迎えることは大変なことです。決めたことを守ろうと努力する4人を応援しています。朝から元気な挨拶の音が響くと元気をもらいます。右記の写真は、10日の交通安全街頭指導で国道へ出てのあいさつ運動でした。7:30前には学校へ登校し、旗を持ってあいさつの声を届けました。

児童会の4人の声の下級生にも届きますように。



## 高知新聞「読もっか」掲載

今年度は、中筋小の子どもたちが「読もっか子ども新聞」の記者になって記事を投稿します。毎日の生活の中から「自分の考えをもつ」「考えを文章で表現する」「社会に関心をもつ」これらの力を育てるための一つとして取り組みます。

投稿したからと言ってすべて掲載されるわけではありません。少しずつにはなりますが、今年度取り組んでいきます。

第1号に5月8日(月)の高知新聞へ3年

さんの  
記事が掲載され  
ました。続いて  
いくよう頑張り  
ます。



なりたいじぶんになる

